



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日

上場会社名 石井食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2894 URL <https://www.ishiifood.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石井 智康
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部 経理請求チームマネージャー (氏名) 大城 弥那 TEL 047 (774) 8748
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,283	5.2	5	△67.0	5	△76.9	△2	—
2022年3月期第1四半期	2,169	9.4	17	—	24	—	10	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 12百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△0.16	—
2022年3月期第1四半期	0.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,127	2,519	41.1
2022年3月期	6,035	2,557	42.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,519百万円 2022年3月期 2,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2023年3月期の期末の配当予想については、現時点では未定とさせていただきます。なお、配当予想額は開示が可能となった時点で公表いたします。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,252	4.8	△93	—	△66	—	△105	—	△6.27

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	18,392,000株	2022年3月期	18,392,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,514,996株	2022年3月期	1,514,996株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	16,877,004株	2022年3月期1Q	16,877,004株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しているものの、経済活動は徐々に再開され、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられました。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻など国際情勢の緊迫化に加え、急激な円安の進行により先行き不透明な状況が続いており、食品業界においては、原材料価格やエネルギー価格の高騰などが一層進行し、非常に厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、新型コロナウイルス感染症の影響で自粛傾向にあった学校行事等が再開したことでお弁当需要が回復し、また、出荷価格改定による販売価格の引き上げや、季節や時機に合わせた営業活動の展開により売り場を確保できたことで、主力商品であるミートボールの売上が増加いたしました。

一方で、昨年度から起こっている菜種油の高騰に加え、国際情勢による小麦や石油・天然ガス価格の高騰及び円安により包材・パン粉・物流費・エネルギー費等が増加し、また、不作等の供給不安による玉ねぎの予期せぬ高騰も重なったことで、製造コストが増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は22億83百万円（前年同期比1億13百万円増）となりましたが、売上原価が15億91百万円（前年同期比1億44百万円増）となり、売上総利益は6億92百万円（前年同期比31百万円減）となりました。販売費及び一般管理費が6億86百万円（前年同期比19百万円減）となり、営業利益は5百万円（前年同期は17百万円の利益）となりました。また、経常利益は5百万円（前年同期は24百万円の利益）となり、これに特別損失及び法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は2百万円（前年同期は10百万円の利益）となりました。

製品別の業績の概況は、次のとおりであります。

(単位：千円)

製品別売上高	前第1四半期連結累計期間 (2021. 4. 1～2021. 6. 30)		当第1四半期連結累計期間 (2022. 4. 1～2022. 6. 30)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
		%		%		%
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	1,908,616	88.0	2,008,854	88.0	100,237	105.3
惣菜	142,216	6.5	147,889	6.5	5,673	104.0
地域商品	72,028	3.3	69,164	3.0	△2,864	96.0
非常食	28,700	1.3	37,357	1.6	8,656	130.2
配慮食(食物アレルギー・減塩他)	8,245	0.4	10,772	0.5	2,526	130.6
その他	10,133	0.5	9,367	0.4	△765	92.4
合計	2,169,940	100.0	2,283,404	100.0	113,463	105.2

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は61億27百万円（前連結会計年度末比91百万円増）となりました。主な要因は、製品及び商品の増加31百万円、原材料及び貯蔵品の増加29百万円、無形固定資産の増加35百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は36億7百万円（前連結会計年度末比1億30百万円増）となりました。主な要因は、買掛金の増加29百万円、賞与引当金の増加89百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は25億19百万円（前連結会計年度末比38百万円減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上2百万円、配当金の支払50百万円、退職給付に係る調整累計額の増加12百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は19億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動により増加した資金は85百万円（前年同期は9百万円の減少）となりました。主な要因は、減価償却費の計上、賞与引当金の増加、棚卸資産の増加であります。

投資活動により減少した資金は75百万円（前年同期は32百万円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出であります。

財務活動により減少した資金は56百万円（前年同期は3億56百万円の減少）となりました。主な要因は、配当金の支払額であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,023,414	1,977,223
売掛金	1,270,978	1,285,212
商品及び製品	70,418	102,272
仕掛品	12,147	9,986
原材料及び貯蔵品	147,738	177,682
その他	49,020	80,481
流動資産合計	3,573,717	3,632,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	499,971	495,115
機械装置及び運搬具(純額)	340,159	324,053
工具、器具及び備品(純額)	32,901	30,344
土地	810,746	810,746
リース資産(純額)	34,966	30,231
建設仮勘定	—	21,750
有形固定資産合計	1,718,745	1,712,241
無形固定資産	252,132	288,119
投資その他の資産		
投資有価証券	454,858	459,115
その他	82,665	81,756
貸倒引当金	△46,780	△46,780
投資その他の資産合計	490,744	494,091
固定資産合計	2,461,623	2,494,452
資産合計	6,035,341	6,127,311
負債の部		
流動負債		
買掛金	307,090	336,699
短期借入金	1,700,000	1,700,000
未払費用	564,037	601,259
未払法人税等	33,577	12,439
賞与引当金	82,212	171,304
その他	141,212	131,686
流動負債合計	2,828,130	2,953,390
固定負債		
リース債務	22,520	18,278
退職給付に係る負債	578,379	586,576
資産除去債務	22,966	22,972
繰延税金負債	23,257	24,414
その他	2,656	2,324
固定負債合計	649,780	654,565
負債合計	3,477,911	3,607,955

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	1,354,991	1,301,625
自己株式	△310,806	△310,806
株主資本合計	2,636,586	2,583,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,767	57,259
退職給付に係る調整累計額	△133,923	△121,124
その他の包括利益累計額合計	△79,156	△63,865
純資産合計	2,557,430	2,519,355
負債純資産合計	6,035,341	6,127,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,169,940	2,283,404
売上原価	1,446,307	1,591,141
売上総利益	723,632	692,262
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	174,696	174,072
退職給付費用	13,851	18,387
賞与引当金繰入額	33,547	38,768
支払手数料	83,853	85,365
運搬費	144,218	147,488
販売促進費	16,578	14,896
その他	239,135	207,428
販売費及び一般管理費合計	705,880	686,408
営業利益	17,752	5,854
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	931	1,231
受取賃貸料	1,346	1,301
廃油売却益	3,406	7,376
助成金収入	3,563	—
その他	552	1,204
営業外収益合計	9,804	11,116
営業外費用		
支払利息	2,424	2,059
棚卸資産廃棄損	571	9,120
その他	160	156
営業外費用合計	3,155	11,336
経常利益	24,401	5,633
特別損失		
固定資産処分損	—	715
減損損失	—	3,076
特別損失合計	—	3,792
税金等調整前四半期純利益	24,401	1,841
法人税等	13,955	4,576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,445	△2,734
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	10,445	△2,734

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,445	△2,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,645	2,492
退職給付に係る調整額	3,728	12,799
その他の包括利益合計	△10,916	15,291
四半期包括利益	△471	12,556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△471	12,556
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	24,401	1,841
減価償却費	48,771	44,453
賞与引当金の増減額 (△は減少)	75,237	89,092
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,642	20,996
受取利息及び受取配当金	△935	△1,234
支払利息	2,424	2,059
助成金収入	△3,563	—
固定資産処分損益 (△は益)	—	715
減損損失	—	3,076
売上債権の増減額 (△は増加)	△30,795	△14,233
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,912	△59,636
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,405	29,609
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△5,893	△7,407
未払消費税等の増減額 (△は減少)	32,073	3,059
その他	△140,275	△12,420
小計	△2,419	99,970
利息及び配当金の受取額	6,328	7,449
利息の支払額	△2,569	△2,059
助成金の受取額	3,563	—
法人税等の支払額	△14,374	△19,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,471	85,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△582	△607
有形固定資産の取得による支出	△5,181	△32,558
無形固定資産の取得による支出	△27,218	△42,697
その他	57	672
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,924	△75,191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△500,000
社債の償還による支出	△300,000	—
リース債務の返済による支出	△5,690	△6,243
配当金の支払額	△50,631	△50,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△356,321	△56,874
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△398,717	△46,191
現金及び現金同等物の期首残高	2,579,907	2,023,414
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,181,190	1,977,223

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。